



金融担当大臣  
松下政経塾出身

# 伊藤達也

VOICE NET mini 2005.8月号

発行所 フォーラムフロンティア(伊藤達也連合後援会)

## 郵政民営化賛成の先頭に立って

8日、衆議院が解散されました。

郵政民営化賛成の先頭に立ち、関係閣僚としてもこの改革の実現に全力をつくしてきましたが、改革の本丸である郵政民営化法案が、自民党の反対派と民主党が連携して参議院で否決されたことは、誠に残念でなりません。

### 330兆円もの国民の資産は

約330兆円にのぼる郵貯や簡保の資金は、財政赤字の補填や非効率な政府部門の事業資金に充てられていました。民営化により、こうした公的資金の流れを改め、郵貯銀行と郵便保険会社が運用能力を高めることで、民間に資金が流れるようになります。

同時に、民の論理が働くことにより、財政や財投に規律が生まれ、財政の健全化へ一歩前進することになります。

### 民営化で、郵便局のサービスが効率化、利便性向上

郵便取扱量はインターネットの普及により減少傾向にあり、今まで黒字であった金融事業も技術革新がめざましく、公社のままでは事業は先細りになると日本郵政公社の生田総裁も懸念を表明されています。

だからこそ、自由な民間の発想で経営を効率化し、多様なサービスを提供することで収益力をつける改革が待たなしなのです。JRやNTTが民営化によって変わったように、公正な競争の下におかれることで、サービスは向上し、利便性が高まることにもつながります。

### 負担減少、増税回避へ

郵政公社は、法人税などを支払っていません。

民営化により、納税義務が課せられると、今後10年間で4兆円以上の税金を払うことが予想され、国や地方の財政に貢献することになります。また、政府が保有する株式が売却されれば、これも国庫を潤します。

さらに、郵政事業で働く国家公務員全体の約3割を占める27万人の方々が民間人になることによって、小さな政府の実現につながります。

このように郵政民営化は、民間主体の活力ある国づくりに不可欠な改革です。国民の皆様のご理解を賜りながら、なんとしても改革が後退しないよう、これからも全力を尽くしてまいります。

金融担当大臣 伊藤達也

## プロフィール

1961年 7月6日生まれ かに座 O型  
1980年 調布市立第一小、調布中学校を経て  
慶應義塾高等学校を卒業  
1984年 慶應義塾大学法学部法律学科卒業  
" (財)松下政経塾入塾(第5期生)  
1987年 カリフォルニア州立大学大学院行政学部 客員研究員  
1993年 衆議院議員(以来、連続4期当選)  
2000年 通商産業政務次官  
以降、自由民主党 経済産業部会長、行政改革推進本部幹事  
e-Japan重点計画特命委員会事務局長  
衆議院 経済産業委員会筆頭理事、  
環境委員会理事等を歴任  
2002年 内閣府副大臣(金融担当)  
2003年 内閣府副大臣(金融および経済財政政策担当)  
2004年 **金融担当大臣**

### ■ 特技はピザの宅配

ピザ生地を指でくるくる回して広げることも特技。  
政治家を志すにあたり、自分と家族の生活費くらい自分で  
まかなえなくては、と20代のとき飲食店を夫婦ではじめた。

### ■ 趣味

野球：小学生の時には、韓国遠征にもいった腕前とか。  
伊藤達也事務所野球チームの4番。  
対戦相手募集中。  
映画鑑賞：学生時代は映画制作サークルに所属。  
今はもっぱらビデオで映画鑑賞。

### ■ 座右の銘

「成功の要諦は成功するまで続けることにある」

### ■ 家族

妻と一男一女の四人家族

# 伊藤達也の5つの約束

## 決断1:「小さくて効率的な政府」の実現

### 行財政改革

官は真に官がすべきことだけを行い、その他の公的サービスについては「官から民へ」移管することによって、より効率的で質の高い公的サービスを提供し、一人一人の力が最大限活かされる「豊かな公・小さな官」を実現します。行政サービスの外部委託、公務員改革等を一層進めてまいります。

## 決断2:「活力・持続性のある

### 経済社会の構築」

### 経済構造改革

金融担当大臣として日本経済の足かせとなってきた不良債権問題の正常化を実現しました。今後さらに規制改革、国際競争力強化、中小企業ベンチャー支援等を推進し、民間主導の活力ある経済社会を構築します。

## 決断3:「主体的なまちづくりで

### 地域を元気に」

### 地域主権

### 地域再生

これまでも積極的にNPO等市民活動や、地域の主体的なまちづくりを応援してきました。また地元の創意工夫が活かされる特区や地域再生の仕組みをつくってまいりました。市民・研究機関・企業・行政の協働により地域が活性化されるよう、国の規制を極力廃し、権限や財源の委譲を進めます。

## 決断4:「命あるすべてを大切にし

### 潤いのある福祉社会の構築」

### 環境・福祉

低公害車、太陽光発電、燃料電池などわが国の優れた環境技術を活かすことで、環境と経済の両立をはかり、地球環境の保全と循環型社会の構築への取り組みを強化します。また、超高齢化社会の「安心の基盤」となりうる持続可能な社会保障制度の構築に努めます。

## 決断5:「政策で政治を変える」

### 政治改革

これまでも具体的な政策を掲げて選挙を行うだけではなく、公約達成度を成績表にして評価を行い、有権者の皆様に示してきました。マニフェスト(政策綱領)を提示し、工程表で道筋を明らかにして目標を達成する手法を活用し、総論賛成、各論反対の政治を打ち破ります。

伊藤達也を支えてくださる皆様へ

## 「3つのお願い」

### 1. お知り合いをご紹介下さい

東京第22区(三鷹・調布・狛江・稲城)に住まいのお友達、お知り合いの方をご紹介ください。

### 2. ボランティア・スタッフをお待ちしております

伊藤達也は、お金のかけない“手作りの政治活動”を実践しています。ポスター貼りや遊説、発送物の封入作業など空いた時間やお休みの日にボランティア・スタッフとして手伝って下さる方をお待ちしております。

### 3. 未使用の切手をご寄付下さい

伊藤達也を多くの方々にお届けするためには莫大な郵送料がかかります。また、切手に限らず、コピー用紙や文房具のご寄付もおまちしております。

## 東京都第22選挙区



## 伊藤達也事務所

〒182-0024

調布市布田1-3-1 ダイヤビル2F

TEL 0424-99-0501

FAX 0424-81-5992